

築地市場概要

平成29年度版



 東京都中央卸売市場築地市場

案内図



- 名称 東京都中央卸売市場築地市場
- 位置 東京都中央区築地五丁目2番1号
- 取扱品目 水産物・青果物・つけ物・鳥卵
- 卸売業者の 販売開始時刻

水産	相 対	せ り	青 果	相 対	せ り
大物	—	5時30分	促 成	0時00分	6時30分
鮮魚	1時00分	4時30分	一般野菜・洋菜	0時00分	7時00分
特種	0時00分	4時30分	果 実	0時00分	7時00分
活魚	0時00分	5時20分			
えび	0時00分	5時20分			
うに	2時30分	5時00分			
塩干	0時00分	5時40分			
合物	0時00分	—			

(平成 29 年 4 月現在)

築地市場概要

1 築地市場のあらまし

(1) 築地市場は、水産物、青果物を取り扱う市場で、その供給圏は都内だけでなく関東近県に及んでいる。特に水産物については世界最大級の取扱規模であり、我が国の建値市場としての役割を果たしている。

※建値市場とは、それ以外の市場で取引するにあたって参考となる価格を形成する力のある市場をいう。

(2) 国内各地はもとより広く海外からも入荷しているが、水産物で約480種類、青果物で約270種類を取り扱っており、水産物はもとより青果物でも特に促成野菜、洋菜類、ハーブ類は豊富な品揃えとなっている。

※ 促成野菜とは、温室で光と温度を調整し、季節を先取りする栽培技術により生産された野菜をいう。
(キュウリ、トマト、ピーマン、オクラ、大葉、妻物等)

※ 洋菜類とは、西洋料理と共に根付いた、レタス、セロリ、カリフラワー、ブロッコリー、アスパラ等をいい、今ではサラダに欠かせない野菜となっている。

※ ハーブ類とは、魚・肉料理の味付けや香りなどを楽しむ野菜で、バジル、ミント、セージ、ローズマリー、ベビーリーフ等をいう。

(3) 1年当たりの取扱数量及び取扱金額(平成28年実績)は、水産物では409,867トン、4292億1千2百万円、青果物(鳥卵・つけ物含む)では262,015トン、908億6千2百万円となっている。

1日当たりの取扱数量及び取扱金額(平成28年実績)は、水産物では1,541トン、16億1千4百万円、青果物(鳥卵・つけ物含む)では985トン、3億4千2百万円となっている。

(4) 1日当たりの入場人員は約42,000人(平成14年(2002年)11月調査)、入場車両数は約19,000台(平成17年(2005年)9月調査)であり、入荷から販売まで24時間連続して活動している。

(5) 築地市場は、昭和10年(1935年)に日本橋にあった魚市場及び京橋にあった青物市場(いわゆる大根河岸)が移転し、開場したものである。しかし、開場から既に82年が経過し施設の老朽化、狭隘化が著しく、流通環境の変化に対応した市場となっていない。平成13年(2001年)12月に策定した東京都卸売市場整備計画(第7次)において、豊洲地区に移転することを決定した。

2 組織及び職員定数(平成29年4月1日現在)

場長 — 副場長	—	管理課	30名	} 合計 70名
		設備課	23名	
		水産農産品課	17名	

※場長、副場長は管理課に含む。

3 開場年月日 昭和10年(1935年)2月11日

4 施設規模(平成29年4月1日現在)

- (1)市場敷地面積 230,836㎡
 (2)建物延べ面積 285,476㎡ (民有施設を除く)
 (3)主要施設の使用許可状況

卸売業者売場	36,456㎡
水産関係	23,256㎡ (うち低温卸売場8,222㎡)
青果関係	13,200㎡ (うち低温卸売場7,345㎡)
仲卸業者売場	15,192㎡
水産関係	11,880㎡
青果関係	3,312㎡
関連事業者営業所	3,452㎡
買荷保管所	6,323㎡
事務室	32,119㎡
冷蔵庫	12,520㎡
その他	116,549㎡

(4)主要付帯施設

- ア 駐車場施設 約4,710台(駐車可能台数)
 ・市場内駐車施設 約4,580台
 ・市場外駐車施設 約130台
 《駐車場の駐車可能台数》

勝どき門駐車場	約870台	水産立体駐車場	約850台
正門仮設駐車場	約450台	水産屋上駐車場	約600台
青果部駐車場	約1,260台	その他	約680台

- イ 冷蔵庫施設 約21,960トン(冷蔵収容能力)
 ・水産関係 約20,860トン
 ・青果関係 約1,100トン

《築地市場内冷蔵庫一覧》

水産物冷蔵庫	約2,600トン	東都水産(株)	約4,400トン
塩干物冷蔵庫	約1,000トン	(株)ハウスイ	約4,700トン
水産プレハブ冷蔵庫	約760トン	築地魚市場(株)	約4,400トン
青果定温倉庫 (26冷蔵室)	約1,100トン	東京魚市場卸(協)	約3,000トン

- ウ 福利厚生施設 3,142㎡ (建物延べ面積)
 ※ 市場関係者の福利厚生施設として、昭和51年4月に開館したもので、宿泊室、会議室、体育館、食堂、浴室等を設置している。

5 関係業者数(平成29年4月1日現在)

(1)卸売業者 [農林水産大臣の許可を受けた者で、出荷者から委託又は買い受けた物品を、せり売又は相対売等により仲卸業者・売買参加者等に卸売する者]

- ア 水産物部 7社
 ・中央魚類(株) ・東都水産(株) ・大都魚類(株)
 ・築地魚市場(株) ・第一水産(株) ・丸千千代田水産(株)
 ・綜合食品(株)
- イ 青果部 3社 (つけ物部、鳥卵部を含む。)
 ・東京シティ青果(株) ・東京中央漬物(株) ・東京中央鳥卵(株)

(2)仲卸業者 [知事の許可を受けた者で、卸売業者から買い受けた物品を仕分け・調製して小売業者等に販売する者]

- ア 水産物部 548業者
 イ 青果部 97業者

(3)売買参加者 [知事の承認を受けた大口消費者、加工業者、小売業者等で、卸売業者から買い受けることができる者]

- ア 水産物部 291業者
 イ 青果部 606業者

(4)関連事業者 [知事の許可を受け、市場内の店舗等において、生鮮食料品等の流通保管業務、必要品の販売・飲食等の業務、加工・サービス業務を行う者]

業務の種類	業種	内容	業者数
流通補完業務	買荷保管業	買荷保管業	4
	運送業	運送業	14
	冷蔵庫業	冷蔵庫業	2
物販・飲食業務	用品販売業	包装用品類販売業、衣料品類販売業、 荒物雑貨類販売業、石油類販売業、 氷類販売業、船舶用品類販売業、 計器類販売業、容器回収業、茶類販 売業	30
	関連食料品等販売業	関連食料品等販売業、加工食料品販 売業	35
	その他販売業	たばこ菓子類販売業	5
	飲食業	飲食業	38
加工・サービス 業務	取扱品物品加工業	取扱品物品加工業	9
	サービス提供業	金融業、理容業、運搬具類修理業、 自転車預り業、造作修理業、環境衛 生業	13
合計	9業種	23事業	150

※平成17年5月1日条例改正施行後の業種区分による。

6 平成28年分取扱実績（築地市場）

(1) 水産物

開市日数266日

種別	数量(トン)	比率(%)	金額(百万円)	比率(%)	一日当たりの取扱高	
					数量(トン)	金額(百万円)
総 数	409,867	100.0%	429,212	100.0%	1,541	1,614
鮮 魚	142,798	34.8%	149,939	34.9%	537	564
活 魚	12,728	3.1%	18,197	4.2%	48	68
貝 類	26,530	6.5%	33,006	7.7%	100	124
冷 凍 魚	82,922	20.2%	100,946	23.5%	312	379
淡 水 魚	1,313	0.3%	2,540	0.6%	5	10
海 藻 類	7,596	1.9%	3,726	0.9%	29	14
加 工 品	135,979	33.2%	120,857	28.2%	511	454

《主要品目取扱実績》

鮮 魚

冷 凍 魚

品目	順位	数量(トン)	金額(百万円)	品目	順位	数量(トン)	金額(百万円)
ぶ り 類	1	28,786	18,516	冷 ま ぐ ろ 類	1	28,127	41,358
あ じ 類	2	15,206	8,712	冷 さ け ・ ま す 類	2	17,303	14,681
た い 類	3	11,097	12,896	冷 え び 類	3	7,828	12,525
ま ぐ ろ 類	4	10,021	22,453	冷 い か 類	4	4,433	3,607
さ け ・ ま す 類	5	8,145	11,085	冷 か れ い 類	5	2,640	2,364
か つ お 類	6	8,125	5,289	冷 か じ き 類	6	1,755	1,690
い わ し 類	7	7,985	2,990	冷 か に 類	7	1,638	5,014
い か 類	8	6,375	5,736	冷 た い 類	8	33	44

加 工 品

品目	順位	数量(トン)	金額(百万円)	品目	順位	数量(トン)	金額(百万円)
し ら す 干	1	8,431	10,195	つ く だ 煮	6	4,093	3,648
揚 物	2	6,942	4,126	開 干 ほ っ け	7	2,551	2,097
塩 さ け 類	3	6,387	5,993	か ま ぼ こ	8	2,306	2,168
開 干 あ じ	4	6,301	3,047	め ん た い こ	9	2,111	3,088
魚 漬 物	5	5,313	3,402	煮 た こ	10	2,010	2,973

(2) 青果物

開市日数265日

種別	数量(トン)	比率(%)	金額(百万円)	比率(%)	一日当たりの取扱高	
					数量(トン)	金額(百万円)
総 数	262,015	100.0%	90,862	100.0%	989	343
野 菜	189,996	72.5%	59,869	65.9%	717	226
果 実	56,271	21.5%	23,825	26.2%	212	90
つ け 物	8,081	3.1%	5,226	5.8%	30	20
その他食料品	2,682	1.0%	581	0.6%	10	2
鳥 卵	4,984	1.9%	1,362	1.5%	19	5

《主要品目取扱実績》

野 菜

品目	順位	数量 (トン)	金額 (百万円)
キャベツ類	1	25,448	2,537
たまねぎ	2	14,913	1,560
だいこん	3	14,410	1,503
にんじん	4	12,033	1,992
レタス類	5	11,631	2,643
はくさい	6	11,053	919
ト マ ト	7	9,375	3,859
ねぎ	8	8,795	3,082
きゅうり	9	8,725	2,973
ばれいしょ類	10	8,589	1,578

果 実

品目	順位	数量 (トン)	金額 (百万円)
みかん類	1	11,725	3,764
りんご類	2	7,196	2,355
すいか類	3	5,487	1,126
バナナ	4	3,164	584
日本なし類	5	3,120	900
いちご類	6	2,904	4,036
メロン類	7	2,866	1,642
かき類	8	2,827	793
もも類	9	2,117	1,059
ぶどう類	10	2,065	1,936

7 築地市場の年次別取扱数量（1月～12月）

(1)水産物部

単位：トン

年次（西暦）	24年（'12）		25年（'13）		26年（'14）		27年（'15）		28年（'16）	
開市日数	274日		272日		270日		268日		266日	
全市場総数	523,547	—	514,829	—	479,424	—	463,976	—	434,290	—
築地総数	492,934	100%	483,951	100%	452,415	100%	436,274	100%	409,867	100%
鮮魚	156,982	31.8%	155,124	32.1%	152,693	33.8%	151,308	34.7%	142,798	34.8%
活魚	12,465	2.5%	11,939	2.5%	12,499	2.8%	12,773	2.9%	12,728	3.1%
貝類	29,175	5.9%	28,908	6.0%	28,473	6.3%	28,532	6.5%	26,530	6.5%
冷凍魚	121,172	24.6%	123,708	25.6%	101,893	22.5%	91,669	21.0%	82,922	20.2%
淡水魚	1,352	0.3%	1,397	0.3%	1,275	0.3%	1,353	0.3%	1,313	0.3%
海藻類	6,973	1.4%	6,925	1.4%	6,466	1.4%	6,596	1.5%	7,596	1.9%
加工品	164,815	33.4%	155,950	32.2%	149,116	33.0%	144,043	33.0%	135,979	33.2%
一日平均取扱高	1,799	—	1,779	—	1,676	—	1,628	—	1,541	—
全市場比	94.2%	—	94.0%	—	94.4%	—	94.0%	—	94.4%	—
平成24年比	100.0%	—	98.2%	—	91.8%	—	88.5%	—	83.1%	—

(2)青果部

単位：トン

年次（西暦）	24年（'12）		25年（'13）		26年（'14）		27年（'15）		28年（'16）	
開市日数	272日		268日		267日		266日		265日	
全市場総数	2,091,021	—	2,074,745	—	2,077,339	—	2,035,703	—	1,993,439	—
築地総数	316,283	100%	305,943	100%	292,462	100%	271,657	100%	262,015	100%
野菜	233,386	73.8%	227,818	74.5%	214,600	73.4%	197,287	72.6%	189,996	72.5%
果実	65,773	20.8%	61,138	20.0%	63,229	21.6%	59,338	21.8%	56,271	21.5%
つけ物	8,102	2.6%	7,978	2.6%	7,384	2.5%	7,520	2.8%	8,081	3.1%
その他食料品	4,317	1.4%	4,323	1.4%	2,639	0.9%	2,702	1.0%	2,682	1.0%
鳥卵	4,705	1.5%	4,686	1.5%	4,610	1.6%	4,810	1.8%	4,984	1.9%
一日平均取扱高	1,163	—	1,142	—	1,095	—	1,021	—	989	—
全市場比	15.1%	—	14.7%	—	14.1%	—	13.3%	—	13.1%	—
平成24年比	100.0%	—	96.7%	—	92.5%	—	85.9%	—	82.8%	—

8 築地市場の年次別取扱金額（1月～12月）

(1)水産物部

単位：百万円

年次（西暦）	24年（'12）		25年（'13）		26年（'14）		27年（'15）		28年（'16）	
開市日数	274日		272日		270日		268日		266日	
全市場総数	444,192	—	448,946	—	462,273	—	467,929	—	454,699	—
築地総数	417,190	100%	421,729	100%	435,023	100%	440,145	100%	429,212	100%
鮮魚	129,351	31.0%	131,553	31.2%	141,041	32.4%	149,990	34.1%	149,939	34.9%
活魚	15,711	3.8%	15,995	3.8%	16,563	3.8%	17,824	4.0%	18,197	4.2%
貝類	29,343	7.0%	30,779	7.3%	33,247	7.6%	35,194	8.0%	33,006	7.7%
冷凍魚	111,069	26.6%	116,529	27.6%	115,932	26.6%	107,050	24.3%	100,946	23.5%
淡水魚	2,206	0.5%	2,318	0.5%	2,297	0.5%	2,455	0.6%	2,540	0.6%
海藻類	3,276	0.8%	3,189	0.8%	3,134	0.7%	3,244	0.7%	3,726	0.9%
加工品	126,234	30.3%	121,366	28.8%	122,809	28.2%	124,388	28.3%	120,857	28.2%
一日平均取扱高	1,523	—	1,550	—	1,611	—	1,642	—	1,614	—
全市場比	93.9%	—	93.9%	—	94.1%	—	94.1%	—	94.4%	—
平成24年比	100.0%	—	101.1%	—	104.3%	—	105.5%	—	102.9%	—

(2)青果部

単位：百万円

年次（西暦）	24年（'12）		25年（'13）		26年（'14）		27年（'15）		28年（'16）	
開市日数	272日		268日		267日		266日		265日	
全市場総数	524,609	—	531,670	—	541,069	—	579,275	—	599,268	—
築地総数	86,086	100%	85,643	100%	86,362	100%	88,956	100%	90,862	100%
野菜	57,833	67.2%	57,968	67.7%	57,292	66.3%	58,654	65.9%	59,869	65.9%
果実	21,896	25.4%	21,251	24.8%	22,532	26.1%	23,510	26.4%	23,825	26.2%
つけ物	4,569	4.4%	4,619	5.4%	4,656	5.4%	4,797	5.4%	5,226	5.8%
その他食料品	694	0.8%	640	0.7%	583	0.7%	597	0.7%	581	0.6%
鳥卵	1,095	1.3%	1,165	1.4%	1,299	1.5%	1,398	1.6%	1,362	1.5%
一日平均取扱高	316	—	320	—	323	—	334	—	342	—
全市場比	16.4%	—	16.1%	—	16.0%	—	15.4%	—	15.2%	—
平成24年比	100.0%	—	99.5%	—	100.3%	—	103.3%	—	105.5%	—

9 参考資料

(1) 築地市場メモ

区 分	内 訳
1日平均取扱高 (平成28年)	② 水産物 1,541トン 16億1千4百万円/日 ② 青果物 985トン 3億4千2百万円/日
1日の入場人員 (平成14.11.28~29 調査)	41,964人/日 ・市場勤務者 14,089人 ・買出人等 27,875人
1日の入場車両数 (平成17.9.4~5調査)	18,657台/日 ・大型貨物(5ト以上) 1,156台 ・中型貨物(2ト以上5ト未満) 3,726台 ・小型貨物(2ト未満) 2,825台 ・乗用車(ライトバン) 4,908台 ・軽自動車 2,404台 ・バス 102台 ・タクシー 208台 ・バイク 3,328台
ターレット車等台数 (平成28年度末)	ターレット車 2,118台(うち電動車 1,963台) フォーク車 472台(うち電動車 276台)
1日の廃棄物量 (平成28年度)	① 水産物部 57ト/日(可燃ごみ 28ト、不燃ごみ 21ト、 発泡 8ト) ② 青果部 8ト/日(可燃ごみ 7ト、不燃ごみ 1ト) ※発泡は溶融製品重量トンである。
1日の水使用量 (平成28年度)	約8,300m ³ /日 ・上水 4,900m ³ (推定) ・ろ過海水 3,430m ³ ※海水をろ過・滅菌する自家用水造成設備(高速沈殿装置・ 急速ろ過装置等 4,800m ³ /日)を設置し、床洗浄水として 利用している。
1日の電気使用量 (平成28年度)	約128,500Kwh/日
棧 橋	長さ 366m(うち仮設新棧橋 165m) 幅 18m ※ 隅田川河口に面しており、50トン~200トン級の漁船の 接岸が可能である。 ※ 平成28年中の接岸実績は70隻で、築地市場水産物取扱量 409,867トン中、約62トンである。

区 分	内 訳
製氷設備	180トン/日 ・自動製氷（砕氷） 80トン ・角氷 100トン ※自動製氷は場内2ヶ所にある自動製氷設備で製氷している。 ※角氷は民間冷蔵庫2社で製氷している。
電気設備	① 契約電力 10,600kw ・特別高圧季時別特別電力A 9,600Kw ・特別高圧季時別特別電力B（冷蔵庫等） 1,000Kw ② 受変電設備 41ヶ所
電話設備	構内交換設備 内線数 991回線
給排水衛生設備	① 給水管路（75mm以上）延長 約8,500m ② 給水揚水ポンプ 45台 ③ 排水管路（150mm以上）延長 約23,400m ④ 排水ポンプ 71台 ⑤ 便 所 266ヶ所 ※ 汚水は場内2ヶ所（3,000m ³ 及び800m ³ ）に一時貯留し、汚物等を除去後、排水ポンプにより公共下水道に放流している。
昇降機（都有）	① 乗用エレベータ 7台 ② 貨物用エレベータ 22台
見学者数（平成28年）	東京都受付見学者数 合計33,799人 （・外国人 22,829人 ・一般 10,255人 ・小学生 715人）
事故取扱件数（平成28年）	① 拾得届 （物件 662件、現金 147件 2,840千円） ② 被害届 （物件 71件 11,780千円、現金 4件 257千円） ③ 紛失届 （物件 123件、現金 48件 2,743千円） ④ 交通事故（物件 241件、人身 116件）
主な使用料収入（平成28年度）	① 施設使用料 2,574,771千円 ② 売上高割使用料 1,356,683千円 ・卸売業者 水産 (1,073,303千円) 青果 (219,466千円) ・仲卸業者 水産 (27,499千円) 青果 (32,246千円) ・関連事業者 (4,167千円)

(2) 築地市場の沿革

① 築地市場の建設

築地市場は、大正12年9月1日に発生した関東大震災によって、東京市にあった民営の日本橋魚市場を始め他の魚市場や青果市場が焼失したため、復興事業の一環として建設されることとなった。市場用地については国有地（当時の海軍省技術研究所、海軍学校跡地）の買収や公有水面埋立により、昭和6年用地整備を完了した。（敷地総面積 196,729㎡、うち埋立地16,631.4㎡）

また、建物等の建設工事は、昭和5年12月から同8年4月にかけて冷蔵庫、仲買人売場等の工事に着工し、昭和9年8月に完成した。（延床面積69,422㎡）

② 築地市場の開場

築地市場には、震災で焼失した日本橋魚市場（現在の中央区日本橋付近）及び俗に大根河岸といわれた京橋青物市場（現在の中央区八重洲・京橋付近）などに多数いた卸問屋や仲買人を收容することにしたが、卸問屋の合併問題や、中央卸売市場の卸売業者の単複問題（1社か複数社とするかの意見の対立）をめぐって調整に時間を要したことから、昭和9年9月、魚類部の淡水魚を扱う卸売業者1社、鳥類部及び鳥卵部の卸売業者各1社の計3社で仮営業を開始し、その後、青果部の卸売業者2社とあわせて卸売業者5社をもって昭和10年2月11日、正式に業務を開始した。

紛糾を続けた魚類部は、昭和10年6月に1社、同年11月に2社と業務許可申請があり、昭和11年1月16日に全ての卸売業者が業務開始し、水産物、青果物、つけ物及び鳥卵等を取り扱う総合市場となった。

しかし、昭和12年7月、日華事変が起き、これをきっかけに統制経済に突入し、昭和16年10月仲買人制度を廃止して市場が配給機関に変わるなど、市場機能が大きく変化した。このため、開場以後、昭和16年まで順調に増加していた入荷量が激減し、終戦の昭和20年には、開場時に比べ、水産物は約5分の1に、青果物は約半分程度に落ち込んだ。

③ 戦後の復興

終戦後は、取扱量が徐々に増加し、昭和22年10月の果実から昭和25年3月のにしん・いわし等大衆魚を最後に、全品目が統制撤廃となり、これと並行して各部に仲買人制度が復活し、市場機能が回復したことから、昭和25年には開場当時を超える取扱量となった。

昭和30年になると、取扱量は開場当時に比べ、水産物が2.1倍、青果物及びその他が1.2倍になり水産物が飛躍的な増加を示したが、取扱量の増大と生鮮食料品の輸送用トラック及び買出車両等の増加により、狭隘の度が一層増し、市場施設の整備が緊急課題となった。

また、昭和30年3月には、進駐軍に接收されていた広大な施設（築地市場全施設の約4分の1）がすべて返還されたことから、施設配置の変更を含めた整備事業に着手することができるようになった。

④ 築地市場の整備

昭和31年から昭和39年にかけて、水産・青果両部の本館3階事務所や水産物部仲卸売場の増築、現在の関連事業者営業所、青果部別館事務所の建設などの整備を行った。また、冷凍水産物の入荷が大幅に増加したことに伴い、市場の冷蔵能力や鮮度保持に必要な氷の生産能力が、都内の冷蔵庫だけでは対処できなくなったため、卸売業者及び仲卸組合に対して、場内に民有冷蔵庫の建設を許可し、6棟の冷蔵庫

が建設された。

昭和40年代は、入荷量及び買出車両の増加対策として卸売場の立体化や駐車場の整備、また、福利厚生対策として厚生会館が建設され、昭和50年代には、青果部仲卸売場の建て替えによる立体化を初め、水産物部の立体駐車場、低温卸売場、塩干物冷蔵庫、都冷蔵庫等の新設等市場施設の整備拡充が図られた。

⑤ 築地市場の再整備

昭和60年代に入って、施設の老朽化・過密化が著しくなったため、築地市場の再整備事業を推進していくこととなり、正門仮設駐車場、築地川本川仮設搬出入路、仮設卸売場A・B・C棟と順次建設するとともに、築地川東支川を埋め立てて市場用地として確保し、平成8年1月には、「勝どき門駐車場」が完成した。

しかし、平成8年11月、「東京都卸売市場整備計画」（第6次）において、築地市場については「健全な財政計画に基づき、①工期の短縮、②建設コストの縮減を図り、③基幹市場としての機能を維持していくため、流通環境の変化に対応したより効率的で使いやすい市場とする視点から見直しを行う」こととした。

そして、業界との協議機関である築地市場再整備推進協議会において、「現在地再整備」「移転整備」について比較検討した結果、平成11年11月、「現在地再整備」の困難性が確認され、「移転整備へと方向転換すべき」との「検討のとりまとめ」をした。

⑥ 豊洲市場への移転

平成13年(2001)4月18日開催の第55回東京都卸売審議会「答申」の中で、築地市場の整備計画については、「早急に豊洲地区を候補地として移転整備に向けた検討を進めるべきである。さらに、移転するまでの間、現在地の市場の機能を維持し、流通の変化に対応するための整備が必要である。」とされた。

平成13年7月開催の築地市場再整備推進協議会において、①移転までの築地市場整備方法の進め方、②新市場の基本計画づくりの手法と手順(案)を説明し、了承されるとともに、同月には築地市場の豊洲移転に関する東京都と東京ガス(豊洲地区の地権者)との基本合意がなされた。

平成13年12月の東京都卸売市場整備計画(第7次)において、築地市場の豊洲地区移転を決定した。

その後、新市場のコンセプトや市場配置を示した豊洲新市場基本構想(平成15年5月)、豊洲新市場基本計画(平成16年7月)を策定し、平成17年9月には、基本設計の与条件として、施設配置、規模についてとりまとめた「豊洲新市場実施計画のまとめ」を策定した。平成17年11月の「東京都卸売市場整備計画」(第8次)において、豊洲新市場を平成24年度開場を目途に整備することとした。その後市場業界と協議・検討し、平成18年11月、整備内容について大筋の合意が図られたため基本設計相当を取りまとめた。

豊洲新市場予定地における土壌汚染に関しては、平成19年4月に、生鮮食料品を扱う豊洲新市場において、食の安全・安心を確保する観点から、土壌汚染対策等について専門家による検証・提言を行う目的で「豊洲新市場予定地における土壌汚染対策等に関する専門家会議」を設置し、平成20年8月には、外部の学識経験者により、豊洲新市場予定地において行う土壌汚染対策工事を含む土木工事の技術工法等の評価・検証を行うことを目的に「豊洲新市場予定地の土壌汚染対策工事に関する技術会議」(以下「技術会議」という。)を設置した。

平成21年2月には、専門家会議・技術会議の提言を受けて、生鮮食料品を扱う市場

として食の安全・安心を高いレベルで確保し、50年先まで見据えた新たな首都圏の基幹市場として豊洲新市場を整備するため、豊洲新市場整備方針を定めた。

その後、平成23年3月に、豊洲新市場建設工事の設計に着手した。さらに、平成24年4月には、全ての豊洲新市場予定地の取得を完了した。

平成23年7月には、東京都環境影響評価条例に基づく事業段階環境影響手続きとして、環境影響評価書を提出した。また、平成23年8月には、都市計画法に基づき、都市計画市場として位置等が決定、告示されるとともに、環境影響評価書が告示、縦覧された。

平成24年1月に策定した「東京都卸売市場整備計画」（第9次）では、「豊洲新市場を平成26年度開場を目途に整備する。」ことが明記された。

また、平成24年7月には、豊洲新市場用地の土壤汚染対策工事の進捗状況や地下水管理について、関係者間で情報を共有し、意見交換を行うため、「土壤汚染対策工事と地下水管理に関する協議会」を設置・開催した。

平成24年11月には、第14回「新市場建設協議会」において、豊洲新市場の施設計画について市場業界と合意した。

その後、平成23年8月に契約した土壤汚染対策工事において処理対象土量が増加する見込みとなったことなどから、平成25年1月に、対策工事の工期を最大1年延伸するとともに、市場施設の竣工時期を平成27年度とすると発表した。

豊洲新市場の建設工事については、平成25年11月に管理施設棟、平成26年2月に青果棟、水産仲卸売場棟及び水産卸売場棟の建設工事の契約を締結した。

また、建設工事の着工に先立ち、平成25年11月の第16回技術会議で7街区、そして平成26年2月の第17回技術会議で、5街区全域及び6街区西側のガス工場操業に由来する土壤及び地下水の汚染対策の完了を確認した。そして、平成26年11月の第18回技術会議では、土壤汚染対策工事が全街区において完了したことの確認を受けた。

平成27年7月には、新市場の名称を「東京都中央卸売市場豊洲市場」とし、開場日を平成28年11月7日とすることを公表した。

平成28年8月に築地市場の豊洲市場への移転延期を決定し、平成28年9月に第18回「新市場建設協議会」において、市場業界に対して移転延期について報告した。

同月、豊洲市場の建物下に盛土がないことについて知事が会見で報告を行い、「豊洲市場における土壤汚染対策等に関する専門家会議」が設置されるとともに「市場問題プロジェクトチーム」が設置された。平成29年4月には、「豊洲市場における土壤汚染対策等に関する専門家会議」や「市場問題プロジェクトチーム」における検証の成果を集約した上で、残された諸課題を総点検し、知事の「総合的な判断」の材料を整えるため、「市場のあり方戦略本部」が設置された。

同年6月には、「豊洲市場における土壤汚染対策等に関する専門家会議」において「今後の対応策」がとりまとめられ、また「市場問題プロジェクトチーム」が第1次報告書を知事に提出した。同月、市場移転問題に関する「基本方針」を公表し、翌7月、知事が農林水産大臣に対して基本方針の説明を行った。

同年12月、第23回「新市場建設協議会」を開催し、豊洲市場の開場日を平成30年10月11日とした。



(豊洲新市場イメージ図)

(3) 築地市場案内

築地市場見学のご案内

申込先 築地市場管理課庶務係
03-3547-8013
見学案内対象者 「小学生・中学生・高校生」の団体
見学案内時間 午前9時～午後3時（休市日、水曜日及び土曜日を除く）
（小学生は原則として午後）

東京都中央卸売市場ホームページ

<http://www.shijou.metro.tokyo.jp/>

★ 主なコンテンツ

- 知っていますか市場のしくみ
- TOKYO ICHIBA PROJECT
- 新着情報
- 食の情報館
- いちば Q & A
- 市場取引情報
- 休開市日カレンダー
- 地震関連情報
- 市場別事業者・団体一覧
- リンク集
- 豊洲市場について
- プレスリリース
- 各市場のご紹介
- 見学のご案内
- 行政情報
- 専門小売店の魅力
- 中央卸売市場公式 twitter
- パンフレット
- ご意見・ご要望

平成 30 年 2 月印刷
平成 30 年 2 月発行

平成 29 年度
登録第 4 号

平成 29 年度
築 地 市 場 概 要

編集発行 東京都中央卸売市場築地市場
東京都中央区築地 5 - 2 - 1
TEL (3 5 4 7) 8 0 1 1
印 刷 大 田 福 祉 工 場

朝日新聞社

青果部地下駐車場

国立がんセンター

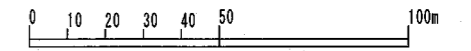
補助31号線(新大橋通)

大江戸線 築地市場駅A1出口

市場橋門

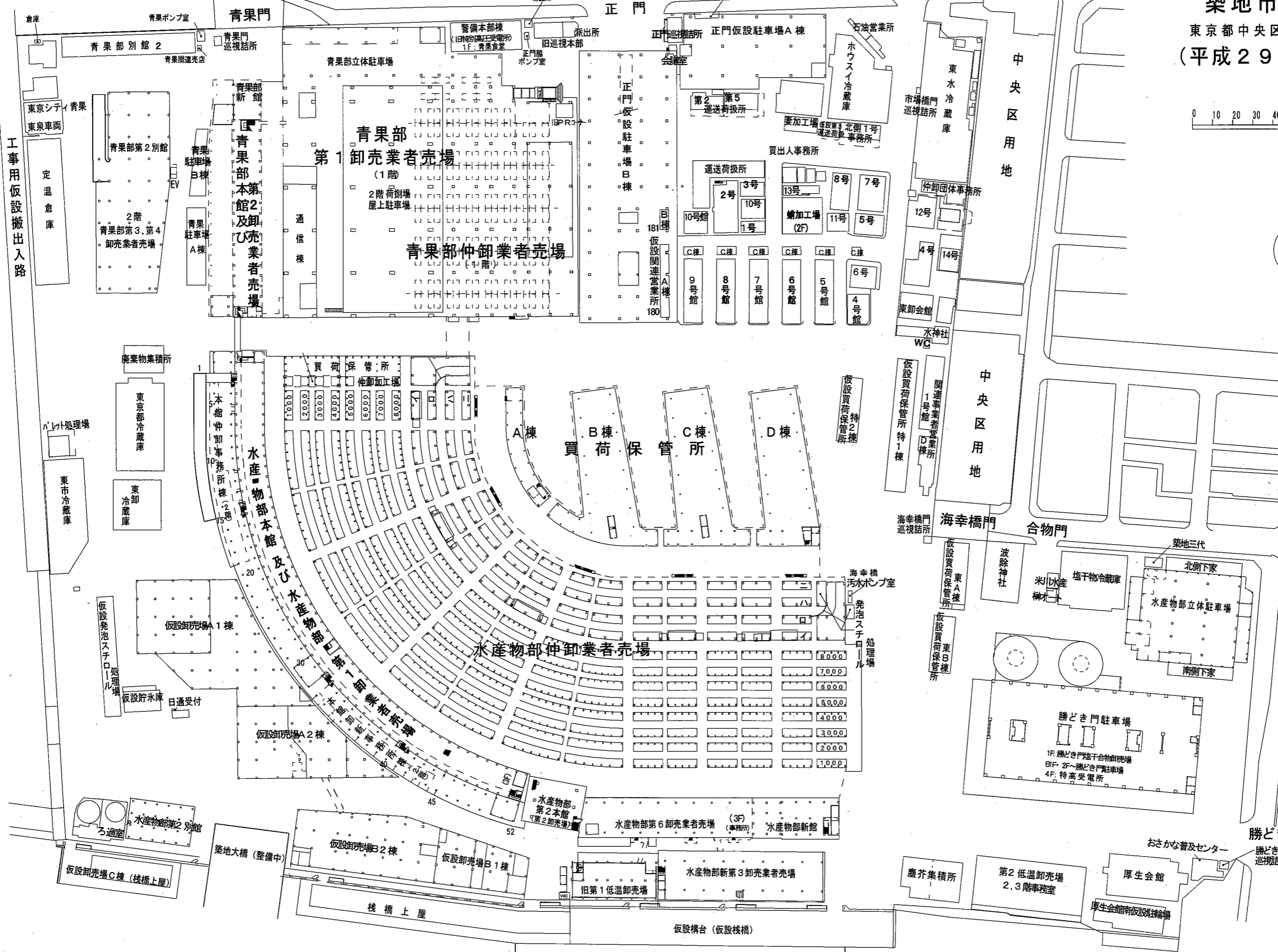
東京都中央卸売市場 築地市場 配置図

東京都中央区築地五丁目2番1号
(平成29年4月1日現在)



築地川本川

晴海通り



隅田川

仮設新棧橋